

市教委ニュース

第249号（令和7年8月7日発行）



交野市教育フォーラムを開催

8月1日に交野市教育フォーラムを開催しました。

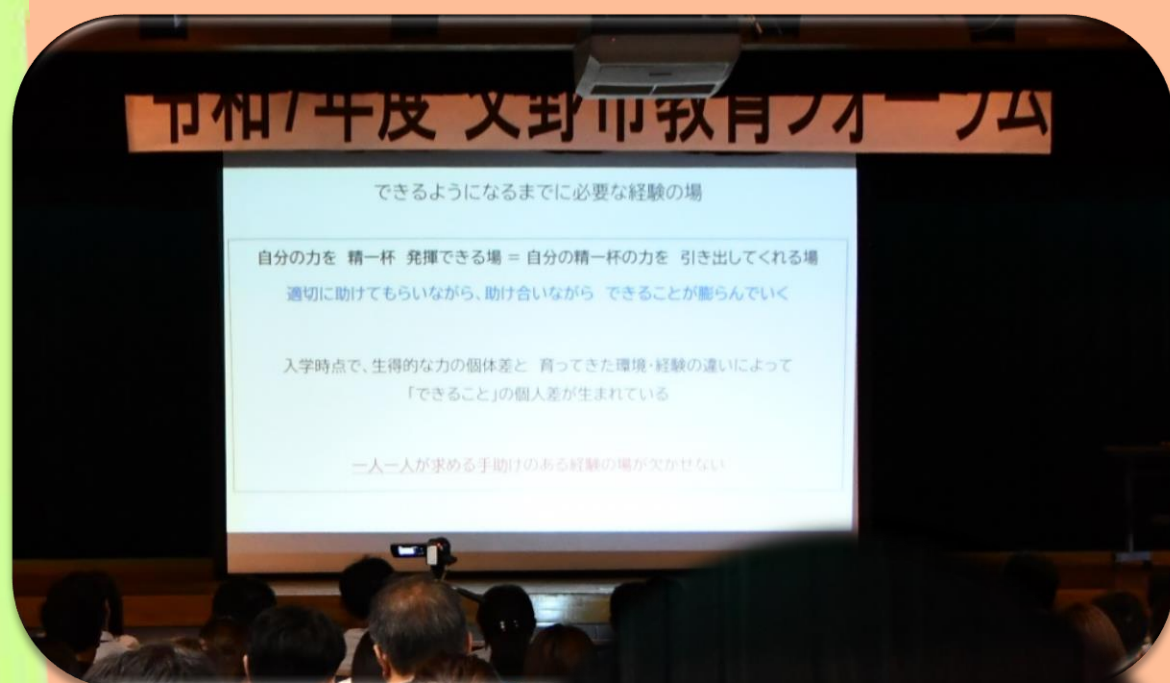
今回は、元四天王寺大学教育学部教育学科教授の早川透氏をお招きして、

「今、求められる支援教育 ～インクルーシブ教育システムを通した共生社会の形成に向けて～」

をテーマにご講演いただきました。

子どもたちがともに生きる形を学ぶ授業・学校生活をめざして

早川先生には、インクルーシブ教育システムについてや、支援教育の現状と課題について、さらには、子どもの発達と障がい
の状況等について分かりやすくご教示いただきました。
教室掲示の工夫など環境整備に関すること、学習活動や学習
展開など授業づくりに関することなど、具体的な例を挙げてご
講演いただき、子どもたちの発達をどのように捉え理解し、どの
ような支援を行うべきかについて学ぶ機会になりました。



手伝ってもらって「できる」経験・助け合って「できる」経験が大切



参加者の感想

【学校関係者】

- どの子にとっても生きやすい状況へ繋げていくため、教育現場として何を構築していくべきなのか課題提起をいただき、たいへんありがたかった。
- 顔が浮かんだ子どもたちとの2学期からの関わりをどうしたらいいのかと考えながら聞かせていただきました。それぞれの子どもたちの気持ちに寄り添いながら、授業をしていけるようになっていきたい。
- 教具活用を再考したり、掲示物を活用したりするなど、児童のためにできることを改めて考えたい。

【一般参加者】

- 支援教育におけるインクルーシブ教育のめざすもの、それを難しくしている問題点を、とても分かりやすく講義していただき、充実した時間でした。
- インクルーシブは、障がい者のためだけではなく、できない事が人と人を繋げて社会全体に安心感を与えることだと感じました。